

(part 1)



8月主題 【 祈りの中で・祈りあう 】
二人、または三人がわたしの名によって集まるところにはわたしもその中にいるのである。
マタイによる福音書18:20



* 来週の手配 *

8/11(月)	8/12(火)	8/13(水)	8/14(木)	8/15(金)	8/16(土)
山の日 (祝日)	礼拝	夏季特別保育週間		お休みの日	土曜保育

- ◆水陸で遊ぼう
- ◆好きな遊びをじっくり楽しもう

◆プールの日はありません。水遊びは子どもの様子を見て行いたいと思います。水遊びしても良い日は水着バックをお持たせください。

○×チェック表は使用しません。

- ◆15日(金)は、給食がありません。登園するご家庭は、おかず入りのお弁当をお持たせください。

8/18(月)	8/19(火)	8/20(水)	8/21(木)	8/22(金)	8/23(土)
開園礼拝	プール遊び (きりんG)	8月生まれのお誕生会	プール遊び (うさぎG)	プール遊び (りすG)	土曜保育
	体操服の日 (うさぎG)		体操服の日 (りすG)	体操服の日 (きりんG)	

- ◆賛美礼拝でいろんな賛美を知り、楽しもう
- ◆8月生まれの友だちをお祝いしよう

◆8月生まれのお友だちをお祝いしよう
※この日の給食はハッピーランチなので白ご飯はいりません。

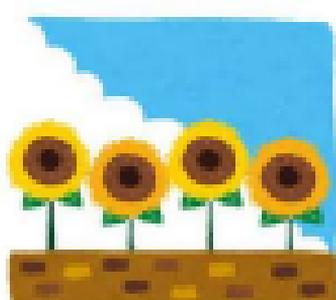
◆体操服の日とプール遊びの日があります。お間違いのないよう、ご確認ください。

* お知らせ *

* 8月22日(金)は移動図書の日です。ご家庭に借りた絵本等がありましたら、18日(月)までに園にお持ち下さるようお願いいたします。返却日を過ぎましたら、各家庭で図書館へ返却していただくことになります。



* 来週のおたよりはお休みです。夏季特別保育週間になります。長くお休みする子もいますので、体調に気を付けて、ゆっくりお過ごしください。



(part 2)

8月主題 【 祈りの中で・祈りあう 】

二人、または三人がわたしの名によって集まるところにはわたしもその中にいるのである。



☆りすGへのおねがい☆



プール遊びが始まって、水着が着られない・着替えが1人でできない子が多くいます。保育者が援助していますが、手が足りません。

衣服の着脱の自立は、子どもに大きな自信を与えます。毎日のお風呂にてその上達のチャンスがあります。大人がしてあげるのとは簡単ですが...ぐっと我慢して、成長の芽を一緒に育てていきませんか？

きっと自分で出来たことの喜びが、子どもたちのやる気に繋がると思います☆



☆うさぎ・

きりんGへのおねがい☆



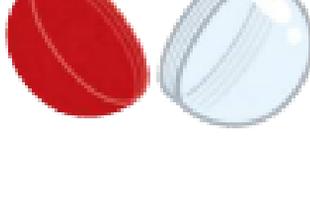
夏ならではの風鈴や水遊びの玩具（水でっぼうや船など）を作りたいと子どもたちが提案し、制作する事にしました。



どんなものを作ってもみたいかをご家庭で相談し、食品トレイなどの使いそうな素材があれば持たせてください。



風鈴作りでは、カップ容器（ゼリー等）やカプセル（ガチャ）がありましたら、持たせてください。



お手数をおかけしますが、19日（月）～22日（金）までに持たせてください。

集まり次第、制作していこうと思います。

カブトムシの赤ちゃん...

「カブトムシ、起きてるかなー？」と、遊びの合間にカブトムシやクワガタのことが気になる子どもたち。

その日もトランプ遊びが終わると、数名の子がカブトムシを観察しに行っていました。「土から出て来てるよ〜。」などと話をすると、また遊びに戻っていましたが...、K君は一人でじっと虫かごを眺め続けていました。その後もずっと見ていたK君が、突然保育者のもとにやって来ました。

「せんせい、カブトムシの赤ちゃんがいるよ！」

「えっ！本当？」

急いで向かうK君と保育者。

「どこどこ？」

「ここだよ！」

その指の先には、虫かごの側面に動いている小さな幼虫の姿が...！「うわー、Kちゃん大発見だよ！」と保育者が声を上げると、「なにになに！？」「本当だ！」「いるいる！」、その騒動に子どもたちが集まってきました。



すると、子どもたちはすぐに図鑑を持ってきて、「あかちゃん、何食べる？」と調べ始めました。メスが卵を産むこと、1度に数個の卵を産むことを知った子どもたちは、「なっちゃんが産んだんだよ」「なっちゃんしかいないもんね」（メスは1匹しかいません）「誰と結婚したのかな？」と話し出し、盛り上がっていました♪



きりんGのMちゃんが「なっちゃんに似てるえっくすくん（オス）じゃない？でもスターくんかも。わからんね。」「チューしたのかな？つのとつのをくっつけてするんじゃない？」と、子どもたちの想像がどんどん膨らんで、楽しい時間になりました。

土を掘り起こすと、卵が3個見つかри、卵と幼虫は別のお家に入れて、温かく見守ることにしました。

今まで成虫のお世話や観察だったのが、幼虫や卵が加わり、今後どのように育っていくのか、子どもたちと日々忘れることがないほど、身近な存在になってきています。